

キャッシュレス決済プレミアムポイント事業の実施結果について

国が新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例として示している、直接、紙幣・硬貨の受け渡しを伴わない「キャッシュレス決済」を促進しつつ、市内経済の活性化を後押しするため、2020年12月1日から2021年1月31日まで実施した、町田市内の対象店舗においてキャッシュレス決済を行った消費者に対してポイントを付与する、「キャッシュレス決済プレミアムポイント事業」の結果を報告します。

1 事業の概要

(1) キャンペーン名

いこいこ町田！PayPay 使って“うふふ”な買い物 最大20%戻ってくるキャンペーン

(2) キャンペーン期間

2020年12月1日（火）～2021年1月31日（日）

(3) ポイント付与率

決済金額の最大20%

(4) ポイント付与上限

5,000円相当/回、10,000円相当/月、20,000円相当/期間

(5) 対象店舗

市内 PayPay 加盟店

(6) 対象業種

大手チェーン含む全業種

※公共サービス、病院、調剤薬局、保険、金券ショップ等は除く

(7) 対象店舗（箇所）数

【開始時】約3,500箇所⇒【終了時】約4,000箇所

(8) 予算額

7月補正予算額 12億円、3月補正予算額 約4.8億円、計約16.8億円

2 実施結果

(1) 決済総額

約92.1億円（1日平均：約1.49億円）

※キャンペーンの前期間（2020年10・11月）比652%

(2) ポイント付与額

約16.3億円（1日平均：約0.26億円）

(3) 決済回数

約355万回 (1日平均:約5.7万回)

(4) 利用者数

約28.4万人

※キャンペーンの前期間(2020年10・11月)比184%

(5) 1人あたりの決済回数

約12.5回

※キャンペーンの前期間(2020年10・11月)比205%

(6) 決算見込額

歳出:事業業務委託料 1,683,370,761円

〔ポイント付与額:1,626,181,987円
販促費・プロモーション費:57,188,774円〕

歳入:(国)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

1,294,453,761円

(都)東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金

388,917,000円

3 広報活動

(1) 屋外広告

・ペDESTリアンデッキへの横断幕及びタペストリーの掲出

(2) デジタル広告

・YouTube、Facebook、Instagram、Yahoo!、LINE、BVIAでの町田市専用WEB
広告動画配信(総再生回数約4,600万回)

(3) 公共交通機関での広告

・JR町田駅、小田急町田駅、南町田グランベリーパーク駅の駅構内にて、ポスターやフラッグ等の駅貼り広告を掲出

・JR横浜線、小田急線全線にて、車内広告を掲出(計1,380枚)

・町田営業所発の神奈川中央バス全車両にて車内広告の掲出(計124台)

・町田営業所発の神奈川中央バスにて車体広告の掲出(計15台)

・小山田桜台・多摩南部地域間運行バス及び町田市民バスまちっこにて車内広告の掲出(計6台)

(4) タウン誌広告

・タウンニュースの町田版及び近隣エリア(さがみはら中央区版、さがみはら南区版、厚木・愛川・清川版、海老名・座間・綾瀬版、多摩版、麻生区版、大和版、八王子版)へ記事の掲出(総発送部数約51万部)

(5) チラシ広告の新聞折込及びポスティング

・市内の新聞購読(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京)をしている世帯に折込にてチラシ広告を配布

- ・新聞購読者以外を対象に、市内在住者へポスティングにてチラシ広告を配布
- (6) 自主協力
- ・南町田グランベリーパーク内デジタルサイネージ及びLEDビジョンへ掲出
 - ・町田ジョルナ内デジタルサイネージ及び館内掲示可能エリアへ掲出
- (7) メディア掲載
- ・新聞掲載（読売新聞、朝日新聞、武相新聞、ショッパー、町田ジャーナル）
 - ・WEB掲載（相模原町田経済新聞、変わりゆく町田の街並み）
 - ・テレビ（日本テレビ「スッキリ」、J:COM「ジモト応援！つながる News」）

4 相談体制

(1) 個別相談会（2020年11月5日～11月13日）

市庁舎及び各市民センターにて、消費者及び市内事業者向けの個別相談会を実施。

	消費者	事業者	合計
相談件数(人数)	47	3	50

(2) 市庁舎窓口相談（2020年12月8日～2021年1月26日）

市庁舎(産業政策課窓口)にて、消費者及び市内事業者向けの個別相談会を実施。

	消費者	事業者	合計
相談件数(人数)	23	1	24

(3) 委託事業者の市内提携ショップでの使い方相談

市内ソフトバンクショップ・ワイモバイルショップでのアプリの利用に関する相談を受付。

期間：2020年12月1日（火）～2021年1月31日（日）

店舗：市内11か所

5 アンケート結果

(1) 事業者（加盟店）へのアンケート

調査対象：キャンペーン参加加盟店

調査方法：PayPay（株）がメール配信にてアンケートを実施

1,501通に対して200通の回答（回答率：13.3%）

調査期間：2021年2月10日（水）～2月16日（火）

【結果（抜粋）】

- ・店舗の売上や来店客数が増えたと回答した事業者が約50%
- ・(コメント)60代以上の方もこのキャンペーンをきっかけに新たにPayPayを使い始め、もっと早くインストールしておけば良かったと言っていました。
- ・(コメント)キャッシュレス決済で手間が減り、店側としても楽でした。

(2) 消費者（利用者）へのアンケート

調査対象：町田市在住者及び町田市に週1回以上来訪する者

調査方法：PayPay（株）がインターネットのモニター調査方式にて、無作為抽出アンケートを実施。町田市人口構成比に基づいて、男女20～60代の1,000サンプル（市内在住者941＋町田市週1回以上来訪者59）件。

調査期間：2021年1月8日（金）～1月12日（火）

【結果（抜粋）】

- ・キャンペーン参加者のうち、80.3%が期間中の買い物頻度が増加したと回答。
- ・キャンペーン参加者の今後のキャッシュレス利用意向は97.2%となった。
- ・キャンペーン参加率を性年代別で見ると、男性30代、女性30～50代の参加率が高い。今回のキャンペーン参加をきっかけに、キャッシュレス決済を新たに利用した人の割合は、女性60代が最も高い結果となった。

6 実施結果に対する考察

・1決済あたりのポイント付与上限を5,000円と比較的高く設定したことや、大型店・チェーン店を対象としたことに加え、駅・電車広告やデジタル広告などのプロモーション活動に力を入れたことにより、当初の想定を上回る事業規模となりました。

・消費者（利用者）へのアンケート結果から、利用者の今後のキャッシュレス利用意向は100%近くとなった。そのうち、本事業により初めてQRコード決済を利用した方の9割以上が、継続利用の意向を示しており、新型コロナウイルス感染症対策として非接触で決済が可能な「キャッシュレス決済」の促進につながりました。

・決済総額が約92.1億円となり、付与されたポイント約16.3億円の再消費分を考慮すると約100億円の経済効果を生み出したことで、「市内経済の活性化」を後押ししました。

・コスト面においては、「キャッシュレス決済プレミアムポイント事業」は、決済総額が約92.1億円、消費者に還元されるプレミアム分の金額が約16.3億円に対し、事務費が約0.6億円で、職員の増員はありませんでした。一方、2019年度に実施した「町田市プレミアム付商品券発行事業」は、決済総額が約6.5億円、プレミアム分の金額が約1.3億円に対し、事務費は約2.4億円で、職員3名を増員して対応しました。

このことから、「キャッシュレス決済プレミアムポイント事業」は「町田市プレミアム付商品券発行事業」より、事務費や人件費等のコストが少なく、さらには消費者の商品券購入手続きや、店舗の換金手続きに係る手間を省略することが出来ました。